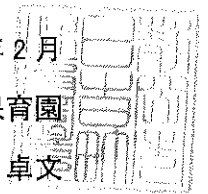


令和 7 年 2 月

幼保連携型認定こども園 日吉町保育園

園長 堀田 卓文



施設の自己評価について

職員会議での職員研修および令和 6 年 12 月に実施した職員・園長面接の内容をもとに、自己評価を行いました。以下に、改善点を踏まえた自己評価を記載します。

1. 保育・教育活動等に関する改善点および自己評価

- 夏季の熱中症対策として、屋内での夏まつりの開催・熱中症指数計を使用した屋外での活動の実施判断などの対策をとっています。
- 子ども一人ひとりの課題について、職員間で情報共有を行い、関係機関(市役所子育て支援課・児童相談所・巡回指導・児童発達支援施設等)との連携も進んでいます。これにより、職員の専門性向上や経験の蓄積を図っています。
- 前年度の改善点として挙げられたパート会議の実施については、伝達系統が煩雑になるなどの課題が見られました。今後は、職員間の情報伝達を統一するため、主担任間での定期的な情報共有の機会を設定・運用していきます。(改善点)
- コロナ禍を経て、行事の準備や進行の方法が職員間で十分に共有されていない部分があるため、行事進行表を作成し、保育活動に活かしていきます。(改善点)

2. カリキュラムに関する改善点および自己評価

- 前年度の改善点として指摘された地域との交流の不足については、子育ておしゃべりサロンの実施が 3 年目を迎え、地域の方々の参加も見られるようになりました。特に夏期の水遊びは好評を得ています。次年度 4 月には、地域の祭りの山車行列への参加も予定しており、今後も地域との交流を継続的に検討・実施していきます。
- 防災訓練・不審者対応訓練については、消防署・警察からアドバイスを受けながら、より実践的な訓練内容の計画・実施を進めていきます。(改善点)

3. 施設その他に関する改善点および自己評価

- 市街地に位置し、十分な運動スペースの確保が難しい状況の中、近隣の公園や体操教室などを活用することで、子どもたちが身体を動かす機会を一定程度増やすことができています。また、立地を生かし、公共交通機関の利用方法なども学ぶ機会を設けています。
- 職員の柔軟な働き方については、法定より余裕のある人員配置を行うことで実現できており、職員の心理的安全性を確保することにつながっています。これにより、園児・保護者とのより良い関係性の構築にも寄与することになると考えています。